

2020年10月19日

三田市長 森 哲男 様

三田市民病院をまもる会

住所 三田市小野

宝塚市医療生活協同組合・三田支部

代表

三田市民病院の病院給食の民間委託に反対する
(申し入れ)

市民のいのちと健康を守るためにご審議されていることに敬意を表します。三田市民病院事業管理者は、2020年8月11日三病総第48号「調理業務の委託化に関する協議について」にて三田市民病院労働組合に、2021年4月1日に院内の患者給食業務を廃止し、病院給食の民間委託を行うための労使協議を申し入れしています。

しかし、市民病院の病院給食事業は単なる労使協議の対象ではありません。

病院給食は、入院する市民と利用者の3食を提供する医療事業の一環です。そのありかたを検討する場合は、市議会での審議を行い他の病院での給食事業の実態調査や、さまざまな課題も明らかにして市民の理解も得て進めるべきものです。

患者給食は普通食だけではなく、患者の病状に応じた医師の指示に基づく細やかな料理法と食材調達が求められます。

病院当局の労働組合への提案によれば、給食設備の修繕費用として約2億7千万円が必要になっているとの事ですが、そうした修繕を行う事に市民は誰も反対しません。むしろ、済生会病院との統合再編の動きがあることから、現時点で修理を行わないと病院当局が判断しているとすれば、それは本末転倒です。

病院給食という基本的設備の修繕必要費用は市が支援するべきです。

市議会でも三田市民病院の統合再編は何も決まっておらず、存続充実を求める市民の署名が15000筆も集まり当局に提出されています。今後とも現在の市民病院の施設利用を行うために、必要な施設と設備の維持補修を行うのは当然のことです。

来年4月に患者給食業務を廃止し、民間委託を実施するとしていますが、こんな短期間に市議会にもはからず行えば、病院給食事業の現場に大きな混乱が起こることも危惧されます。

三田市民病院の存続と充実を行うために必要な設備修繕を行い、統合再編を前提とする病院給食の民間委託提案については撤回を強く求めます。